

『子どもの「わがまま」がピタリと止まる本』

キャロリン・クラウダー PHP 2003.5.

著者は「食事」「起床」「就寝」は、戦場になりやすいと述べています。その上で、子どもがわがままを言わなくなるヒントをまとめている本です。学校でも、参考にしたいと思いました。

◆子どものわがままをなおす二つの秘訣

1 子どものわがままへの「対応策」

→ 自分のとった行動の「結果」を体験させる

2 子どものわがままへの「予防策」

→ 幼いころから家族への「貢献」に努めさせる

◆子どもをしつけるとき、親は「言葉」に頼りすぎる傾向がある。

でもいくら口で言っても効果がない場合、どうするか。

そのときは、親は毅然とした「行動」を示せばいい。

例 寝ないでTVをつけている。 親が消す。

◆「結果」を体験させるときの7つのゴールデンルール

1 子どもも自分も「尊重」する

2 親は「セルフ・コントロール」を忘れない

3 子どもに「結果」を体験させる

4 「結果」の体験は途中で中止しない

5 子どもへの「信頼」と「期待」を伝える

6 「静観」と「無視」も有効な対策

7 前もって「対処計画」を立てておく